

## 【総論】

## (重点領域に関するご意見)

- ・ 5年後ぐらいで実際に世の中に入っていくような技術と、2030年ぐらいの実装を考えた時に今の時点で仕込んでおくべきものや、基礎的なところをやっておかなきゃいけないものがある。
- ・ 社会課題を解決するだけなら、自分たちで開発しなくても他から持ってくるでもいい。世界トップの技術とするためにどういうことをやっていくのか。棲み分けを明確にして、2025年で何を実現するのか意識を合わせるべき。
- ・ 国としては、日本固有のところはやるべき。AIやデータ利活用、量子は、世界でやっている中で、日本はどこのポジショニングを目指して、2025年、2030年の段階でどういう状態に持っていくのかを意識づけしてから、戦略を立てるべき。

## (データの活用)

- ・ 日本人の個人データを国内で活用するデータセンターを作るという話をもっとあってもいいのではないか。
- ・ 日本国内でデータを有効活用するという手段を考える必要がある。日本国内で実施する分には、プライバシーの規定も緩くできる等、政策まで含めてやっていただきたい。

## (戦略をどう実現するか)

- ・ 分野の進歩が非常に速く、トップダウンで大きなプロジェクトを作って設定した目標が、1年後には使われなくなることもある。ボトムアップに、特に若い人から出てくるアイデアや技術が、必ずしも目標に向いていなくても、副次的に良い技術が出てくることを評価できる仕組み等ができること研究としては、プラスになっていく。
- ・ 今立てた計画が5年間走りっぱなしではなく、途中で見直せるようにして欲しい。

## 【総論】(つづき)

### (個別のテーマ)

- ・ 2025年を目処に解決すべき社会課題は変わってきているため、サイバーセキュリティ以外のところは**解くべき社会課題が変わってきた中でどうすべきか議論をした方がいい**。
- ・ 研究のフェーズ毎によって評価の指針は異なる。実装系は9割が失敗する。失敗しても良いが、失敗から得られる成果をきちんとしてほしい。
- ・ 創ったものがなぜ現場に実装できないのか。突き詰めて考える必要がある。
- ・ やってみることを許容していかないと未発見の分野は進まない。バックキャストで全てやってしまうと新たな課題は見つけれられないので、実装の部分についてはある程度許容することも必要である。
- ・ 時空標準は「観る」に現在入っているが、ネットワークに使うということも想定されるため「繋ぐ」にも入っていていいのではないだろうか。

## 【AI分野】

- ・ **サイバーセキュリティとAIのリンク**を入れていただきたい。
- ・ AIは、データが鍵になる。現場の翻訳で失敗したデータをリアルタイムで吸い上げるようなことができれば、精度は急速に向上する。他方、**データのプライバシーの問題等の問題があってできないため、データをどう集められるか、集めるのを助ける仕組みを作っていけるのか**。国としてサポートできると、研究レベルも上がっていくだろう。
- ・ データ利活用では、**様々な分野とのかけ合わせで使用用途はさらに広がっていく**と思うので、組み合わせのところも考えながら進めていただけるといい。

## 【Beyond 5G分野】

- ・ Beyond 5Gだけを見ると無線だけかという見方をされることが多い気がする。**無線のネットワーク**だけでなく、それを支える有線の光、IoT等を広くこの中には入れておいてほしい。
- ・ オールジャパンで日本の強みを合せて進めていくようなモノは国がやるべきだろう。

## 【量子暗号分野】

- ・ 量子暗号は魅力的ではあるが、量子効果みたいな話ともリンクしないと通信路だけが安全になって、鍵交換をやってもなかなか使われない。マーケットとして、**ターゲティングをうまくやっていく必要がある。**
- ・ 「量子暗号」ではなく「量子分野」の方が適切ではないか。

## 【セキュリティ分野】

- ・ **サイバーセキュリティとAIのリンク**というのは、どこかに入れていただきたい（再掲）